

平成31年度 事業報告

認定こども園木の実

1. 教育・保育の質の向上

研究テーマ「子どもの絵からみえる心 ～豊かな表現～」

保育及び絵画の専門知識をもつ先生を園内研修に年3回外部講として招き、絵画の保育の方法、子どもの絵の見方等を学んだ。保育室の一室を絵画専用の部屋として環境を整え、職員を配置することで、子どもが絵を描きたいと思ったときに描けるようにしていった。子どもの絵を職員で見合いながら子どもの内面にある心境を探り、今後の保育のあり方や子どもへの関わりを検討する機会を設けていった。講師より、職員の子どもの見る視点、関わりによって子どもの成長が絵に表れていると評価を頂くことが出来た。

2. 職員が生き生きと主体的に働く環境づくり

元気な挨拶、相手に伝わる言葉がけについて、会議や職員面談を通して幾度となく周知や確認、感じたことを話し合う機会を設けていった。園を見学に来られた方より、「先生が明るく、楽しそうに働いている良い雰囲気なので木の実に入園を希望したい」との声が聞かれた。職員に挨拶の大切さの意識が一段と高まった。気づきを伝える意識や行動を2等級職員に求め、各々の思いや考えが出せる場や環境を構築していった。職員のやりたい保育の実現に繋がった。勤務時間内に子どもと離れて仕事をするノンコンタクトタイムを計画的に取り入れ、事務業務の効率を図っていった。8時間の勤務時間内に業務が終わられるよう業務改善を行うとともに、職員に時間のけじめをもつ指導も行っていった。

3. 地域、保護者への認知度の向上 ～木の実 此処にあり～

地域とのつながり、地域への関心を高めるために、円山地区まちグループが作っている『円山リゾート米』を使ったクッキングや、子どもが興味を持った梅干し作りを地域の方に教わりながら実施した。地域交流の他、園行事や園の紹介を報道機関に依頼し、1年間で9回、新聞やテレビ等に掲載、放映された。

4 課外教室の展開

福井県初の園児向け卓球教室を課外教室として取り入れた(4・5歳児対象)。初めてのレッスンの様子が福井新聞に掲載された。円山地区は卓球の強豪地区でもあり保護者の関心も高く、入会者が日を重ねるごとに増えていった。